

今年の夏は早くから湯水の心配がありました。統計開始以来最短の梅雨となった今年の香川で咲いていた、紫陽花(アジサイ)の花です。

ごけい たより
互恵便り 第17号

創業以来100余年、幸せな明日へ祈りの心を…
NS 中谷石材株式会社
〒761-0121
高松市牟礼町牟礼3766-1
電話 087-845-5006



6月18日 長尾町亀鶴公園のアジサイ
写真 中谷石材(株)大川工場 奥野 武

2022年盛夏！ 暑中お見舞い申し上げます



庵治石でつくられた瓦の屋根です。

「やしまー」という名前は公募により採用されました。マール=まわる、は回廊型の施設と人が集まる和やかな様子を合わせたそうです。やしまーは、8月5日オープン予定です。新しい人気スポットのひとつになりそうですね。

中谷石材(株)参与
庵治工場 和泉融治

**「庵治石瓦」も
いよいよお披露目です**

屋島山上交流拠点施設「やしまー」が、まもなくオープンします。回廊状の建物全体が曲線を描く美しいデザインだそうです。楽しみです。

その屋根材には、庵治石で作った瓦3万枚が使われています。讃岐石材加工協同組合が協力し、組合加盟の業者が分担して昨年から3万4千枚もの「庵治石瓦」を作成しました。もうすぐお披露目の日を迎えますね。

私が個人的にこの組合に加盟しているので、庵治工場では千枚の瓦をつくりました。私も初めてのことでしたが、庵治石で瓦が製作されたこと自体が初めてのことだったようです。

はたしてどんな屋根の仕上がりになっているのか、早く見たいものです。やしまーるがオープンしたら、さっそく行ってみようと思っています。



ご縁を大切にしたいと、願いを込めて

当社が扱う商品は家系が継続される限り受け継がれて行くものです。私たちはお客様と向かいあう中で、信頼されてこそはじめて永く続くご縁が生まれることと思っています。お客様との関係をより一層大切に育てていきたい、私たちのことももっと知ってもらいたい。そんな願いも込めて「互恵便り」を毎月発行しています。



お蔭さまで。

しばらく前から「サブスク」という言葉を見かけるようになりました。わたしも英語は得意な方ではないのですが、「定額制」を意味する言葉だそうですね。一回きりの売り切りではなくて、利用者は定期的に（基本は毎月）決まった金額を払うことでサービスが受けられる仕組みです。毎月利用料を払えば、今や家具や洋服や家電が好きに使えるサブスクまであります。

サブスク（定額制）の反対が「売切り型」の商いです。かつてはほとんどの商品が売切り型でした。こういう従来型の良いところは、最初に大きな売上が立つところです。良くないところは、得てして売ってしまったらお客様とのお付き合いが途切れてしまう危険があるところです。

売り切りの関係ではない 永いお付き合いを

お墓の商いは典型的な売切り型です。人生で二度お墓を建てる人は珍しいですから、一度建てたあとはどうしても業者と疎遠になってしまいます。

いえ、本当はこちらから出向いてお話を聞く必要があります。いかにせん忙しさを理由に、満足のいくお付き合いができなかったというのが実際のところでした。

私は、自分たちを「墓守」だと考えています。みなさんがお墓を守ると言うときは、ご先祖供養を継承されているということですね。そのみなさんの声を聞いてご要望に答えるのが、私が考える「墓守」の役目です。そういう思いで、墓じまい（終い）をされる方の「その後の供養」のご相談などにもお応えしてききました。

それでもやはりお墓の建立後にお目にかかれるお客様はごくわずかです。顧客となられたお客様との絆を一層大切にして信頼関係ができていかなければ、私たちは墓守りになれません。

互恵便りを通じて絆を

そんな思いから、昨年ニュースレター「互恵だより」を発行して当社の石材関係と草むしり事業のお客様にお届けしています。お陰さまで、少しずつですがお客様とのつながりが生まれてきているように感じています。ありがたいことに4ページではさびしいとの声が聞かれ、今号から従来の6ページに戻すことにしました。

このニュースレターを通じて地道にみなさまとのつながりを強くしていきます。お客様からお客様のご紹介をいただけるような信頼される会社をめざして、今後とも励んでいきます。どうぞよろしく願いいたします。

社長 中谷明生

お墓の「困った」は当社が解決します！

大きな変化の時代を迎えている中で、墓石関連事業もまた、大変革の時代に直面しています。ふれあい祭りを始めた15年前は、今のように墓じまいをするという事は無かったと思います。



お墓を守る お手伝いをします

供養の在り方は大きく変化していて、一家に一基のお墓というのも変わりつつあります。

樹木墓、合同供養塔などを利用して納骨をされる方も増えていますが、それでもお墓を大切に守り続けている方は少なくありません。

私たちは、お墓を大切に守り続けるお客様に、今の時代の「墓守」として寄り添いたいと願っています。お墓をつくり、先人に感謝しながら綺麗に維持を続けていくお手伝いと共に、お客様と永代のお付き合いをさせていただきます。

「相談を お待ちしております

お客様の墓についての困りごとへ、私たちが解決します。お墓をつくることから、お墓の掃除、お墓のリフォーム、お墓の引っ越し、ご戒名（法名）の追加彫り、納骨支援、永代供養墓などのご紹介などお墓に関する悩みは、私たち中谷石材にご相談ください。



第13回 庵治石 in

NS ふれあい祭り

会場 中谷石材株式会社 大川工場

開催日も決定！
10月22日(土)

お会いできるのを
楽しみにしています！



実行委員
配送センター安部さん

準備委員会スタート！

楽しみにされていた皆さん、中谷石材のふれあい祭り再開です！コロナ禍での空白の2年分も含めてう～んと楽しんでもらおうと、みんな張り切っています。

どうぞ、お楽しみに♪



気合い！

7月12日実行委員会



15年前に始めた当初は頭に「庵治石」を付けて「庵治石ふれあい祭り」と言っていました。

“石に関心を持って頂きたい”という気持ちと、お客様と直接ふれあえる機会が少なく職場だったので、ふれあえる場の提供をという思いから始めたお祭りです。

大川町に工場を作って35年以上経っていましたが、知名度は無いに等しいものでした。石材工場がこの地区にありますから、石が必要な時には利用して頂きたいという思いも強くありました。

当初は物販販売も多くやっていて、収益が上がった場合は寄付に回させていただいていたのですが、でも利益追求の為のイベントではないですし、販売がメインになつては長くは続けられないの思いから販売は極力控えてきました。



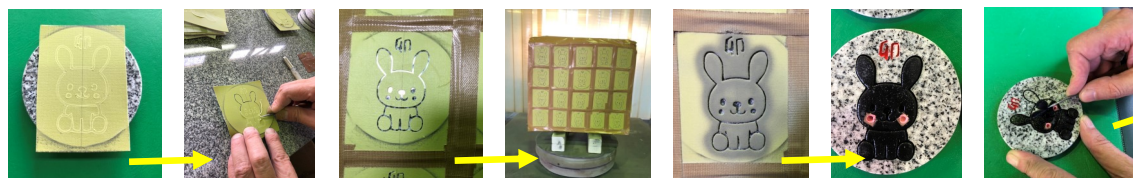
プレゼントの準備開始！

よろこんでくださる皆様の顔を思い描きながら、一枚一枚に心を込めて作っています。目標は300枚です！
がんばりますよー！！



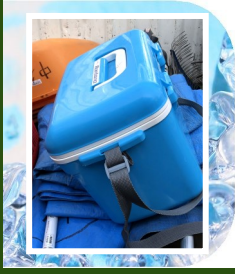
森さん

豊永さん



仕事の合間に準備を始めているプレゼントは、こんなたくさんの工程を経て1つずつ手作りしているものです。お楽しみに～♪





「草むしり日記」No.43

毎朝、自前のクーラーボックスを軽トラの荷台に積み込むメンバー達。中には、その日必要な水がたっぷり入っています。



別の日の現場です。よいしょ！仲間と一緒に、頑張りました。

6月23日、高松港から船で約20分のところに位置する女木島に、草むしりのお手伝いとして同行させていただきました。前夜の天気予報で30°Cの真夏日予報。それではと、500ml5本の水を持参して準備万端！と、向かいました。現場では、伐採と草刈りをして出た草を車に積むのが自分の役割でした。開始早々から、らっきょうのような汗が…。

らっきょうのような汗が

みなさん、こんにちは。字彫課の畠山晃です。



恐るべきはその後です。この日に飲んだ水分は4kgを超えています。しかし…家に帰って体重計に乗ると、なんと！前日より、3kgも体重が減っていたんです。いや、一日で7kgも汗をかいていたなんてビックリでした。(笑)

恐るべし、草むしり(笑)



炎天下でも、とにかくひたむきに目の前の草と向かい合っている草むしりのメンバーたちです。熱中症に気を付けて下さいね。

仕事をしながら水分補給。1本また1本となくなり…。気がつけば午前中で用意していた5本のペットボトルは空になっていました。まったく足りず、現地です本購入。無事に仕事が終わった5時ごろには、8本すべて飲みきっていました。



字彫課 畠山晃

でも、大満足してくださったお客様の笑顔と、草むしりメンバーと一緒に汗を流してやり遂げた時間は、いつも自分を成長させてくれます。次回も頑張ります！

次回も頑張ります！

どうですか？二人とも似たポーズで甲乙つけがたいですね。どちらも優勝！といことぞ。(笑)



この2枚の昭和の男前ポーズ対決写真は、本人の許可なく全く無断で掲載しています。ごめんなさ～い

帰りのフェリーを待つ間に突然始まったのが、「昭和の男前ポーズ対決」でした。疲れ切ったメンバーを笑わせようといつも明るい山下さんと林さんのお二人です。

草むしり.com 高松

私たちが、お客様のお悩み事を解決します！



やりがいのあるこの事業の正社員(リーダー候補)とアルバイトを募集しています。一緒に働いてみませんか？



働いてみて驚いたのは、仲間の元気で楽しげなことです。52才の私は、チーム内では年齢が下から2番目の若さです。



この仕事は、仕事を終えたときの達成感が格別です！

やり甲斐のある仕事だと

そとで、これはやり甲斐のある仕事だなと感じました。どういふところにかというところ、お客さんが喜んでくれるところがいいんです。庭がスッキリとなりましたとか、お客さんが感激してくれると、とにかくこちらもうれしくなって疲れもやわらぎます。そんな経験を積んでいるうちに、草むしり.comで人材を募集していることを知って応募。一緒に働く仲間に加わりました。



みなさん、こんにちは。山下浩司です。今年で52才です。中谷石材の草むしり事業部に来てから、まだ2ヶ月ほどです。別の草むしりやさんのアルバイトに誘われて行ってみるのが、初めての草むしりでした。

先輩方がとにかく優しい

あととみなさん60代で、一回り以上年上の方も何人かいらっしゃいます。自分が同じ年齢になった時は、あんなに元気かなあ、と考えちゃいます。だけどそこから元気をもらえます。そしてその先輩の方々がとにかく優しいんです。うーん、ぼくを人として尊重してくれると言ったほうが正確かな。もちろん上下関係はあります。でも、まだここに来たばかりで経験も少ないぼくを、仲間として尊重してくれるんですよ。

もちろん、仕事の内容に関しては厳しい指導をいただいています。でも、前職では職員同士の競争もあり、この職場のような和気あいあいとした雰囲気とはちがっています。だから、このアットホームな感じが新鮮で気持ちがいいんです。

目の前の庭がきれいになるのは爽快感もあり、ときにはお客様からその場でお礼まで言われるの、仕事にやり甲斐を感じています。まだまだこれから、この仕事に何か思いつくなど、おこがましいくらいです。とにかく今は進んで覚えること、進んで動くことを心がけています。

暑い季節が続きます。体調にじゅうぶん気をつけて、仕事に取り組んでいきます。

山下浩司

達成感は格別！そしてお客様の笑顔、お褒めや労いの言葉、それが嬉しくて..



リタイアして3年目。高い山から星空の写真撮りたくて、そのためのトレーニングもしていました。そんなタイミングで声をかけられた草むしり.comのアルバイト。脚腰を鍛えるにはもってこいかもしれない。そう思いすぐに応募しました。

アルバイトを始めたのは6月中旬。早い梅雨明け後の、連日猛暑日予想が続く炎天下での草むしり作業は、想像以上にキツくて大変でした。でも、周りの人たちは黙々と作業をこなしてゆきます。日頃トレーニングで鍛えていて少しは自信があった私ですが、仕事としてこなすプロレベルの高さに思い知らされました。

いつのまにか仕事がいっぱいになってしまいました

この仕事を本当に続けられるのだろうか？最初はそんなことも思いましたが、リーダーをはじめメンバーの和やかな雰囲気での雑談や、飛び交うジョークに混ぜられ、ざり込んだりしていると、なんだか部活動をしていた学生の頃に帰ったような気持ちになり、いつのまにかこのメンバーでの仕事がいっぱいになってしまいました。

この仕事は、自分達の作業で目の前の庭がどんどん綺麗になって、すぐに成果があらわれます。

それにお客さまの笑顔、お褒めや労いの言葉、それが嬉しくて楽しくて。しかも毎日作業する現場が違っているので、知らない所に行く遠足のようなワクワクや新鮮さもあります。

この仕事の魅力にハマって！

さらに言うと、作業が辛ければ辛いほど、仕事を終えた時の達成感は格別で、それは重い荷を背負って急坂を登る忍耐と、それを乗り越えて山頂に着いた時に見る絶景や達成感を味わえる登山にも似ている気がします。

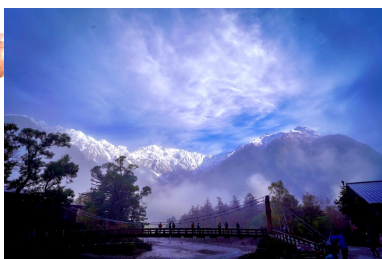
そう考えると、トレーニングのつもりで始めた草むしりのアルバイトですが、高い山に憧れる私がこの仕事の魅力にハマってしまったのも当然のように思えます。

そして今この原稿を書いている私は半月以上のお休みを貰い、来週から北アルプスに入るための準備をしています。

草むしり.com。出勤日を自由に調整させて貰えるこのアルバイトは、こんな私のセカンドライフになくはならないものになりつつあります。

アルバイト 藤田和彦

「身軽ですね。ウチでバイトしませんか？」 自宅の庭木を剪定していたら、たまたま隣の草刈り作業に来ていた草むしり.comの佐々木リーダーに、その声をかけられたのがきっかけです。



今月の社長のコラム

お蔭さまで。

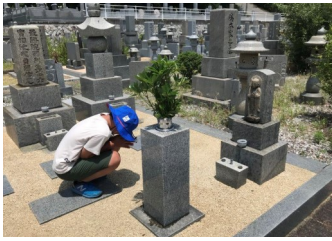
梅雨入りしたと思つたら、各地で早々に梅雨明けの声が聞こえた今年の7月でした。早い梅雨明け後は、記録的な暑さが続きました。みなさん、熱中症等には充分お気をつけて、この暑い夏を乗りきってください。

わたしは長年お墓参りをしています。たいしては毎月の第一日曜日に墓所に行きますが、何かの都合で行けなかったときは翌週に伺うことにしています。

ちょうど一年前、初めて孫をお墓参りに誘った時のことをここに書きました。二人とも快く私に同行してくれて、汗をかきながら墓所の草を抜き、掃き掃除をしてくれました。とてもうれしかった出来事でした。

孫との墓参は続いています

あれから一年が経ちましたが、孫とのお墓参りはいまでも続いています。年下の孫の方は最初の一度だけで離脱してしまったのですが(笑)、上のお兄ちゃんの方はいまでも私に同行してくれています。



私も幼いころ祖母に連れられて、よく墓地にお参りに行ったものでした。

当時は歩いて行くしかなかった道も、今は車で行くことができ、いつも工場近くのふれあい市場で花を買ってから墓



地に向かいます。墓地に着いたら一礼して墓所に入りお墓に手を合わせ、掃除等を行います。

きれいになったのちにお線香をあげて、最後にお墓に

向かつて二人で手を合わせ、毎日のご加護をお願いして終わります。帰る途中に地元でお祀りしている山の神さまにもお詣りをして安全祈願をします。いつもながらお墓参りのあとは、本当にすがすがしい気持ちになります。

このあとは二人でお昼を食います。第一候補は廻るお寿司屋さんなのですが、混んでいて空席がないときは牛丼屋さんに行くことになりま。食べたあとは本屋さんに行き本を選ぶのですが、小学校6年生の孫はコンピュータのプログラムの本を選ぶときもありません。わたしには宇宙人の本かと思うくらい書いてあることが理解できませんが、孫はこういうことを勉強するクラブにも通っているらしいです。恐ろしいことです。

孫との墓参りはもうしばらくは続きそうですが、来年中学に入ったかどうかでしょう。クラブに入部したりすると、日曜も忙しいですからね。難しいかもしれません。それまでの間は、孫と二人月に一度のお墓参りが続きそうです。それはほんとうに充実した気持ちのいい時間です。そんな一日を持つことができればいいですね。

有難うございます。

社長 中谷明生

社内報・大川工場

「つばきプレゼント」6月号より

家庭での防災対策していますか？

最近は何に感じる地震も起きたり、他県では大きな地震も発生。南海トラフを震源とする地震はいつ起きてもおかしくないとされています。南海トラフの震源であれば「香川県」においても揺れによる被害、また津波も到達する予想されており大きな被害が予想されます。

今年の梅雨は全然雨の降らない梅雨でした。台風シーズンに入ると、毎年どこかで大雨による被害が起き、その被害もひどくなっているのはニュース等で耳聞きしています。

防災対策と言われてもピンと来ないかもしれませんが家の近くの避難所を確認したり、避難場所までの危険な場所等を確認するのも防災対策の一つです。水や食料、その他必要な物を備蓄する。他にも地震であれば家具転倒防止や窓ガラスに飛散防止フィルムを張る。大雨や台風は天気予報などで予め把握し、避難の情報が出れば早めの避難をしましょう。

地震は、海岸や河口に入る時に大きな揺れを感じたらすぐに離れるといつことを頭に少しでも入れておき、もし起きた時にはすぐ行動できるようにするのも大切なことです。

今の日本は、いつどこで災害にまきまられるかわかりません。常からの意識付けをしましょう。

大川工場 北山健太



「写真はなるべく引きでお願いしたいな」と照れていた北山さん。顔を伏せちゃいましたね。入社して9年。大川工場では研磨を担当しています。

長身でワイルド。見た目は強面の彼ですが、礼儀正しくて優しく、話題豊富で老若男女問わずの人気者です。



創業以来100余年、幸せな明日へ祈りの心...
NS 中谷石材株式会社

本社 〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼3766-1
電話 087-845-5006 FAX 087-845-5062



草むしり.com 高松
フリーダイヤル 0120-148-144